

にこにこ情報

竹とんぼ



発行 社会福祉法人緑樹会

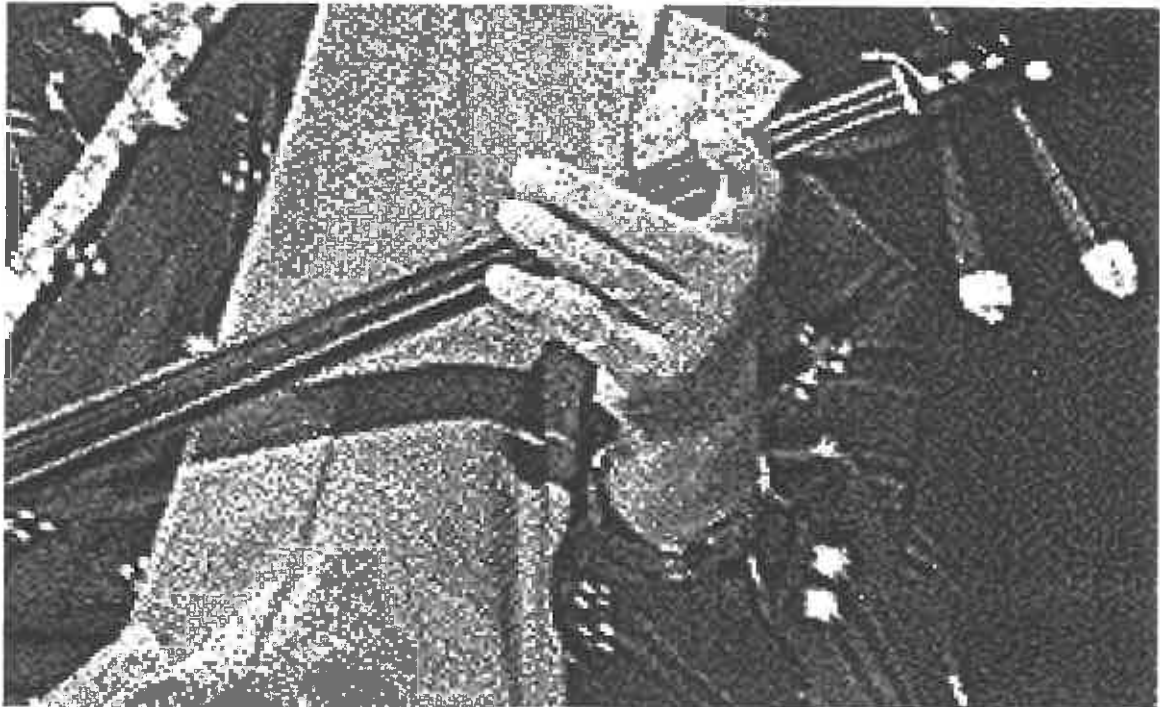
〒904-0021 沖縄市胡屋7-2-10

電話 098-930-2525 (にこにこ)

FAX 098-933-1324

ホームページ <http://www.ryokujukai.or.jp/>

メール kikaku@ryokujukai.or.jp



飛行日誌

四月に行われた第二回ひやみかち節コンクールの開演に先立って、沖縄民謡の大家である登川誠仁先生の追悼が行われました。それを受けて小生は理事長挨拶を行いました。その挨拶のなかで登川先生のエピソードを語ったわけですが、関係者から活字にして欲しいとの要望がありましたので、非才をかえりみず、紹介します。

(略)先程、登川誠仁先生追悼映像があいびいたしが、せえ小先生や歌碑建立ぬ資金造成さい、第一回ひやみかち節コンクールぬ審査委員長さい、言ちん尽くさらんあたぬ協力ゆ賜びみそおちゃん。先生かいや肝から二拝えとう、御悔やみ申ぬきやびいん。

先生から聞ちやる話、ひとうち申ぬきやびら。

「かなぐすく、汝や、吾が帽子好ちやせえ解いらやあ。吾ねえ帽子とお、良う似ええとおん。帽子んでいせえ、ちやあ被じいし いねえ必じ似ええていちゆるむんやん。汝ん帽子ぬ好ちやらあ、ちやあ被じいすせえ良しどお」でい、あん言やびいたん。

ぐすうよう、くぬコンクールや頭んかい国際でいぬ帽子ぬ乗とおびいん。くぬ国際でいぬ帽子ぬ良う似ええんとうう、ちやあ被じいし、いちゆる積やいびいん。

わした緑樹会や歌にくみらつとおる琉球ぬ思ひ、広く世界んかい発信する積やいびいくとう、ぐすうようぬ、みいかんげえ、ゆたさるぐとう御願えさびら。

第2回 国際ひやみかち節コンクール



International Competition of HIYAMIKACHI



県民に広く愛される民謡「ひやみかち節」をベースに、オリジナルのアレンジを加えた演奏でその魅力を競う、第2回国際ひやみかち節コンクール(主催:社会福祉法人緑樹会、共催:ミュージックタウン音市場、後援:沖縄市)が4月21日、沖縄市のミュージックタウン音市場で開かれた。

「ひやみかち節」は、旧コザ市名誉市民の故山内盛彬氏が1948年に作曲。戦後間もない荒廃した沖縄で、ひやみかちの精神を歌った。復興に向けて県民を奮い立たせたこの曲は、今なお多くの県民に愛唱され続ける名曲となった。

同コンクールは、歌い継がれてきた「ひやみかち」の精神を次代に伝え沖縄市から福祉芸能文化を広く発信することを目的に開催。

出演した7団体は、それぞれを持ち味を活かし、アレンジを凝らした「ひやみかち節」を演奏した。

コンクール出演者の他にも、オープニングを飾ったダンススクールJAMP LANT(ジャムプラント)の生徒らによるひやみかち節の創作ダンスや、特別ゲストとしてミッチー&津嘉



▲オープニングで、ひやみかち創作ダンスを披露したダンススクールJAMP LANTの生徒ら

山正明withスライスパイソラによるジャズバージョンのひやみかち節の演奏も行われた。また3月19日に死去した登川誠仁氏を追悼し、特別映像も上映された。登川氏は「ひやみかち節」演奏の第一人者として知られ、第1回コンクールの審査委員長も務めた。

コンクールは、審査の結果、「はいさい國吉兄弟」



▲軽妙な囃子(フェーシ)とエイサーで観客を沸かせた美らニーセーターズ



▲琴と二胡による演奏で心地よいメロディーを奏でる律の会



▲独学で三線を勉強したという、実力派の高校生、大畑彰香

▽がひやみかち大賞に輝き、トロフィーと賞状、副賞として賞金5万円の他、リゾートホテル宿泊券が贈られた。また「律の会」と「名嘉姉妹」の二組が審査員特別賞を受賞した。



▶息の合った演奏、張りのある歌声で観客を魅了し審査員特別賞を受賞した名嘉姉妹



▲ロック調でのひやみかち節を披露したグリーンブラザーズ
▼沖縄を代表するエイサーの名士「開田青年会」の地謡衆、開田ジカターズ



ファイナーレでは、生前に登川誠仁氏が演奏した録音CDと共に出演者全員でひやみかち節を歌った。ひやみかち大賞を受賞したはいさい國吉兄弟の兄、國吉大介さんはコンクール後のインタビューで「今回は兄弟そろって参加することが出来たので、とにかく飛び出そう！誰もやらないことをやって、元氣よくひやみかちそうー！と思って練習に取り組み、出場しました。大賞を取ることが出来るとにかく最高です！」と話し、「また違う見せ方をして、会場を楽しませたいと思います。」と次回出演にも意気込みを見せた。

主催者の金城和昌理事長は「これからも山内盛彬先生、登川誠仁先生のひやみかち節に込められた琉球の思いを広く世界に発信したい」とあいさつした。

(砂川智規)



▲歌舞伎のようなメイクと動きで観客をひやみかした、はいさい國吉兄弟



▶特別ゲストで出演し、洗練されたサウンドを響かせた本格実力派ジャズバンド「ミッチー&津嘉山正明withスパイス」



▲ひやみかち大賞発表の瞬間、名前を呼ばれて握手を交わす國吉兄弟



第2回
国際ひやみかち節コンクール
審査結果

*ひやみかち大賞
はいさい國吉兄弟

*審査員特別賞
律の会
名嘉姉妹

▶ファイナーレは、故登川誠仁氏が生前に歌った音源と共に出演者全員での「ひやみかち節」。



みんなの笑顔

三ツ子館

軽費老人ホーム

私は西原で生まれました。子供の頃は背が高かったのでバレーボールの選手をしていましたよ♪でも、戦争で激戦地の摩文仁に連れて行かれました。艦砲射撃の中、弾を運んだり、負傷者の面倒を看たりしていましたね。いま思うと、よく生きていられたなと思います。戦後は北部の収容所で学校にも行きました。家族もみんな亡くなり、辛い思い出ばかりなので今でも南部方面には行きたくありませんね～。

それからは叔父の家でお世話になり、軍作業をしていました。25歳の時に結婚して4人の子供に恵まれましたよ。仕事は70歳過ぎてもしていたさあ。5年前に大きな手術をしたので、それからは食事に気を付けながら毎日生活をしています。緑樹苑に来てからは8か月になります。みなさん、よろしくお願いしますね！（取材：浅瀬石和子）

渡名喜ツル子さん(80歳)



昭和8年 4月2日生
出身：西原町
趣味：編み物、音楽鑑賞

ケアハウスはいびすかす浜下り

のどかな一時を過ごしました

四月十一日(木)、ケアハウスはいびすかすでは利用者十三名、職員十三名の計二十六名で読谷村渡具知の泊城公園へ浜下りに出かけた。

当日、出発前には利用者から「寒いから行きたくない。今日は行かないよ。」と不満の声も上がっていたが、泊城公園、渡具知ビーチに到着すると「天気が良くてよかったね。来てよかったさあ！」と嬉しい声を聞くことが出来て、職員も一安心。

公園では全員の健康祈願として海水で清めの手洗いを行い、その後は海浜を一望出来る遊歩道を散策したり、ベンチで弁当を食べながら楽しく雑談したり、心地良い海風と潮騒を感じたりと、利用者はそれぞれのどかな一時を過ごしていた。

今回は入社したばかりの新人職員三名も参加し、利用者と一緒に触れ合い、コミュニケーションを図ることが出来た良い浜下りとなった。

(山城和文)



アメリカエアハート スクール学芸会



琉球芸能を堪能し、児童たちとの交流も

軽費老人ホーム
また参加したいさあ

五月三日(金)、軽費老人ホームの利用者は恒例となったアメリカエアハートスクールの学芸会に参加した。

これは毎年ゴールデンウィーク期間中に、嘉手納基地内にあるアメリカエアハートスクールという小学校で行われているもので、今年も利用者はうきうきした様子で苑を出発した。

天気にも恵まれた学芸会当日、会場に向かうバスの車内では今年で二十数年が経つというその会について施設長が豆知識をガイド。到着後は基地内の小学生から熱烈的な歓迎を受け、利用者も笑顔で手を振って喜んでいった。学芸会では太鼓、獅子舞、三線などが披露され、緑樹苑エイサーも参加。

利用者の仲村明子さんは「とても楽しかったよ！」

また来年も参加したいさあ
と楽しんだ様子だった。

(前川太作)



デイサービス なごやかな雰囲気の中で

五月三日(金)、早めの昼食を済ませ、十二時四十分には苑を出発して、ゲート通りをとおりにぬけた三台のバスが嘉手納基地へと向かった。基地の入り口で警備員にチェックを受けてゲートをくぐり、緑の芝生が広がる敷地内へ入った。この日の目的はアメリカエアハートスクールの学芸会である。

緑樹苑デイサービスと軽費老人ホームの利用者及び職員の総勢約三十名で参加。利用者の中には基地内勤務経験者の方や、「(基地内の)自分の土地を見に来たよ。」という方も



いて、懐かしそうな様子で基地内の景色に目をやっていた。

学芸会ではアメリカエアハートスクールの児童たちによる太鼓や三線、琉球など様々な琉球芸能が披露され、地元の子供たちも獅子舞や琉球舞踊で参加し、迫力ある演技で利用者を楽しませた。緑樹苑の職員も児童らと共にエイサーで出演し、大太鼓の響きで会場を沸かせた。また、児童と利用者が交流する場面も見られ、会場はなごやかな雰囲気にも包まれていた。

学芸会終了後は手作りのアメリカのお菓子が振る舞われ、利用者はカラフルなお菓子を珍しそうにしながらも、美味しそうに食べていた。帰る頃には少し疲れた様子も見られたが、「楽しかったね」「また来たいね」との言葉が交わされ、とても満足そうな表情で会場を後にした。

(新垣藤子、下地英康)

よさこいソーラン節で元気をはこぼ

五月八日(水)、兵庫県から「神戸アツサンプレ」というボランティアグループが来苑し、よさこいソーラン節をはじめとする華やかな演舞が披露された。今回来苑したのは六名の女性で、東日本大震災の時も炊き出しボランティアに行ったとのこと。当日の舞台は緑樹苑デイサービスホールで行われ、軽費老人ホームや特別養護老人ホーム、ケアハウスはいびすかすの利用者も参加して大勢での観賞会となった。



一曲目と二曲目は手話の振り付けで歌われ、東日本大震災復興支援ソングの「花は咲く」が手話を交えて高らかに歌われた。三曲目四曲目は、利用者も一緒に歌える歌として童謡の「茶摘み」、名曲の「青い山脈」。あちらこちらで口ずさむ利用者が見られた。五曲目は「麦畑」。曲中のおヨネさんとまつつあんに扮したボランティアグループの方が農家の仮装をしてデュエットし、東北弁の歌詞のやり取りが利用者の笑いを誘った。六曲目は沖縄民謡の「安里屋ユンタ」。この曲には職員も民踊りで参加した。

そして最後に、お待ちかねのよさこいソーラン節が踊られた。「よさこい」とは高知県の民謡で、「ソーラン節」は北海道の民謡であるとのこと。まず初めに「おかみさんソーラン」が披露された。これは、洗濯や買い物をするおかみさんの一日を踊りにしたも

神戸アツサンプレ来苑

のだそうだ。次に、「よさこいソーラン」が踊られた。赤いハッピーに鉢巻きの衣装で、見事に息のそろった素晴らしい演舞であった。早いテンポの曲に合わせた素早い動き、大きな掛け声もあり、ものすごい迫力であった。

利用者は曲に合わせて手拍子をしたり、歌を口ずさんだりして、とても楽しそうな様子であった。よさこいソーラン節を初めて目にしたという利用者も多く、「とても上手で、素晴らしかった!」、「(合間の)トークも、話し上



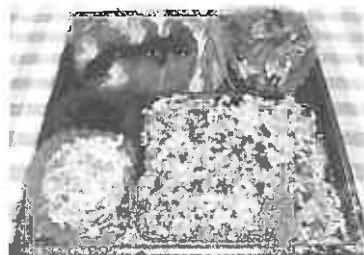
手でおもしろかった」などの感想が飛び交い、迫力ある演舞に大盛り上がり会場の会場となった。(新垣藤子)



給食だより

おいしい健康弁当！ ひやみかち弁当・宅配サービス

日替わり弁当380円



緑樹苑の栄養士による、安心安全な献立のヘルシー弁当です。栄養管理はもちろんバラエティも豊富に食べ応えのある日替わり弁当をお届けします。

イラブー汁500円



疲労回復や美容効果、産後・病後の滋養強壯として食されているイラブー汁。ていびちと昆布を組み合わせることで相乗効果があります。イラブーのだしがたっぷり！

あひる汁500円



喘息改善効果や、風邪予防にもぴったり！癖もなく飽きのこないおいしさで大人気！ボリュームのあるアヒル肉に大満足の一品です。

1食から配達いたします！
(※配達料は商品代金にプラス100円となります。)
弁当注文2個目からは配達料金が無料！
営業日：月～金 定休日：土・日・祝祭日
※その日のお弁当がなくなり次第、配達終了。

お問い合わせは・・・
TEL(098)933-3281(090-1940-4466)
受付時間 9:00～13:00
配達時間 11:00～14:00

みどり学童クラブ★

今年の5月より学童の担当になりました。これまでとは畑違いの業務になりますが、児童たちからあふれるパワーをもらって、金城先生や新任の佐久田先生と共に盛り上げて行きたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

みどり学童クラブは、新年度より新しいお友達が増えて現在では30名の児童が利用しています。児童たちは学校から帰ると早速その日の宿題を片付けて、その後各自でローラースケートや一輪車、ベゴマ等好きな遊びをして楽しく過ごしています。仲良く遊んでいると思いきや取っ組み合いのけんかをしたり、短時間で変化していくその様子にまだまだ戸惑いもありますが、児童たちとふれあいながら日々楽しく過ごしていきたいです。(新垣春美)

6月の予定



- 1日(土):手作りおやつ
- 8日(土):竜宮城蝶蝶園へ
- 15日(土):手作りおやつ
- 22日(土):ター滝へ

※児童の体調や天候によって、変更もあります。



平成二十五年度 緑樹会後援会総会開催

後援会だより

平成二十五年度緑樹会後援会総会が四月二十五日(木)、緑樹苑デイサービスで開催され、八十五名が集った。

最初に緑樹会後援会の與座達男会長より、「平成二十四年度は色々な活動が実施され、会員や職員、家族会の皆様のご協力のお陰で実績を上げることができました。また平成二十五年度も、様々な活動を予定しております。今年度も皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い致します。」等と挨拶。



その後、平成二十四年度の活動・決算報告(案)、が行われ、高江州昌範監査役から平成二十四年度の監査報告をされた後、参加者より承認された。また、平成二十五年度活動計画(案)、予算(案)についても審議され、満場一致で承認。後援会役員についても、前年度の役員が継続承認され、今後とも後援会活動に尽力していくことを決意される。



総会終了後は、引き続き懇親会が開催。社会福祉法人緑樹会の金城和昌理事長による挨拶の後、後援会の大城律也幹事より乾杯の音頭がなされると和やかな雰囲気となり、バイキング料理とビール、泡盛等を味わいながら親睦交流が行われた。

懇親会では資格取得者の方々の紹介があり、後援会顧問の久場良男氏(沖縄空手道拳法会拳武館館長)が最高位の空手道範士十段を取得され、その演技を披露。



会場は迫力ある空手の演技に魅せられていた。また職員では、介護支援専門員を高江州政さん、松田祐子さんが取得、さらに介護福祉士を平田嗣豊さん、親泊久美子さん、信清典子さん、名城美代子さんが取得し、金城和昌理事長より報奨金が手渡され、会場から拍手を受けた。

余興では、緑樹会礼楽塾勉強会のメンバーの発表があり、幕開けに松合流琉舞かぎやで風が披露され、湛水流三線、島言葉の漫才、講師の比嘉マチ子さんと共に三板も披露された。また、職員によって構成されたバンドによるロック調のひやみかち節が演奏されると、さらににぎやかとなりおおいに盛り上がった懇親会となった。(花城美佐乃)

お知らせ

7月に後援会ピクニックを予定しています。
内容は、参加者の皆様が楽しめるものを企画中です。
近々、お知らせのご案内を会員の皆様にお送り致しますので、どうぞご期待ください。



PHP友の会情報

全国PHP友の会沖縄地区本部より**第18号**より抜粋

社会福祉法人緑樹会は平成23年10月から職場内PHP勉強会を実施、またPHPかりゆし友の会の拠点として活動しています。

各PHP友の会・会員並びにPHP活動に、ご関心をお持ちの皆さん「素直な心」を、日々の生活・仕事に活かしましょう
「素直な心になりましょう。素直な心は、あなたを強く正しく聡明にします」

沖縄地区本部並びに各友の会における6月開催セミナー・行事を案内します。日程に都合のつくみなさまの、知人・友人お誘いあわせのご参加をお待ち致しております。また、各友の会ではセミナー開催の都度、入会受付を行っています。

沖縄PHPサタデーセミナー友の会・・・連絡先:090-1945-0752(田中)、090-9783-9564(下地)

平成25年 6月15日(土) 11:00~	第11回サタデーセミナー テーマ:DVD視聴と気づき合い	場所:沖縄レインボーホテル 電話:098-866-5401
-----------------------------	---------------------------------	----------------------------------

PHPやんばる友の会・・・連絡先:090-1949-4068(崎山)

平成25年 6月8日(土) 17:30~	第5回土曜セミナー テーマ:DVD「命は一個、一生は一度」 視聴と気づき合い	場所:名護産業支援センター 電話:0980-52-4243
----------------------------	--	----------------------------------

全国PHP友の会沖縄地区本部圏域の各友の会では、活動として「定例会セミナー:PHP誌輪読と気づき合い」「社会貢献活動:クリーン活動、思いやり・愛のゆいまーる基金寄付活動・諸福祉施設でのレク活動」を実施しています。今回は、「PHPやんばる友の会」の社会貢献活動:クリーン活動を紹介します。

平成25年4月13日(土)PHPやんばる友の会(平良武志会長)では、「北部技能士会(西江輝久会長)」と協働で「名護城クリーン活動」を行いました。両会から15名が参加。すがすがしい汗を流しきれいになった名護城同様、心も洗われた1日を過ごしました。



▲クリーン活動(清掃)を終えて、記念写真におさまる参加者一同(撮影:崎山英新やんばる友の会事務局長)

名護城でごみ拾い

【名護】北部技能士会(西江輝久会長)とPHPやんばる友の会(平良武志会長)は13日、名護城でクリーン活動を行い、約2時間で弁当からやペットボトル、空き缶などを回収した=写真。

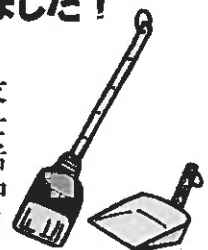
両会の事務局を担当する崎



山英新さん(39)は「観光名所のナングスクは市民の宝。きれいにしたい」。名護中央公園の宇根良政所長は「ありがたい。なかなか手が回らないのでうれしいことです」と感謝した。(玉城学通信員)

PHPやんばる友の会のクリーン活動は、沖縄タイムス(平成25年4月17日号)にも掲載されました!

◀PHPやんばる友の会・北部技能士会の「クリーン活動」を紹介する沖縄タイムスの紙面



6月行事

	苑内行事	礼楽塾17:00～18:00	礼楽塾18:00～19:00	礼楽塾19:00～20:00
1(土)				
2(日)				
3(月)			松含流琉球舞踊	
4(火)	(は)誕生会		着付け	
5(水)			島言葉	クエーナ
6(木)	(は)三板クラブ		民舞サークル	
7(金)	(は)カラオケクラブ	介護技術勉強会	琉球史	
8(土)				
9(日)				
10(月)	(は)ミニドライブ		お茶会	
11(火)	(は)防災訓練		三板(さんば)	
12(水)	地パーリー・(特)誕生会			王府おもろ
13(木)	防災訓練・(は)書道クラブ	応急手当法	応急手当法	応急手当法
14(金)	父の日祝い会			湛水流三線
15(土)				
16(日)				
17(月)	(は)お茶クラブ		松含流琉球舞踊	
18(火)	(特)誕生会・(は)ガーデンカフェ		着付け	
19(水)	(は)誕生会	PHP勉強会	島言葉	クエーナ
20(木)	(は)苑内美化活動		民舞サークル	
21(金)	(は)手芸クラブ	介護技術勉強会	琉球史	
22(土)				
23(日)				
24(月)	(は)歌会クラブ		お茶会	
25(火)	(特)ホーム喫茶・(は)ミニドライブ		三板(さんば)	
26(水)	防災訓練・(は)散髪			王府おもろ
27(木)	後援会ふれあいパーティー・(は)書道クラブ			
28(金)				湛水流三線
29(土)				
30(日)	家族会大掃除・(特)誕生会			

(軽) 軽費老人ホーム、(特) 特別養護老人ホーム、
(は) はいびすかす、(テ) デイサービス

〈物品の部〉
具志川 ミツ様(ご家族) 仲村 徹 様
安里 幸巳 様
長嶺 直美 様
〈金員の部〉

(平成二十五年四月一日～四月三十日)

感謝録

暖かいご支援御協力下さいました方々に
紙上より厚く御礼申し上げます。

編集後記

5月に続き梅雨時期の6月ですね。毎日続く雨に気分もげんなりしそうですが、苑で飼育しているうさぎ達は雨にも負けず、元気にびよんびよん飛び跳ねています。世話をしに行くたびに泥にまみれて近づいてくるので、この時期は少しビクビクしながらエサを与えています。数か月前に産まれた赤ちゃんうさぎ達も一生懸命エサをもらいに來るので泥をかけられながらも癒されている毎日です(笑)

梅雨が明ければ、あつという間にやってくる夏。その頃に、利用者さんにも元気な子たちとふれあってもらえるように、うさぎ達と一緒にうさぎばらくの梅雨を乗り越えていきたいです。(仲宗根舞華)

